

(5) 大野都市計画区域

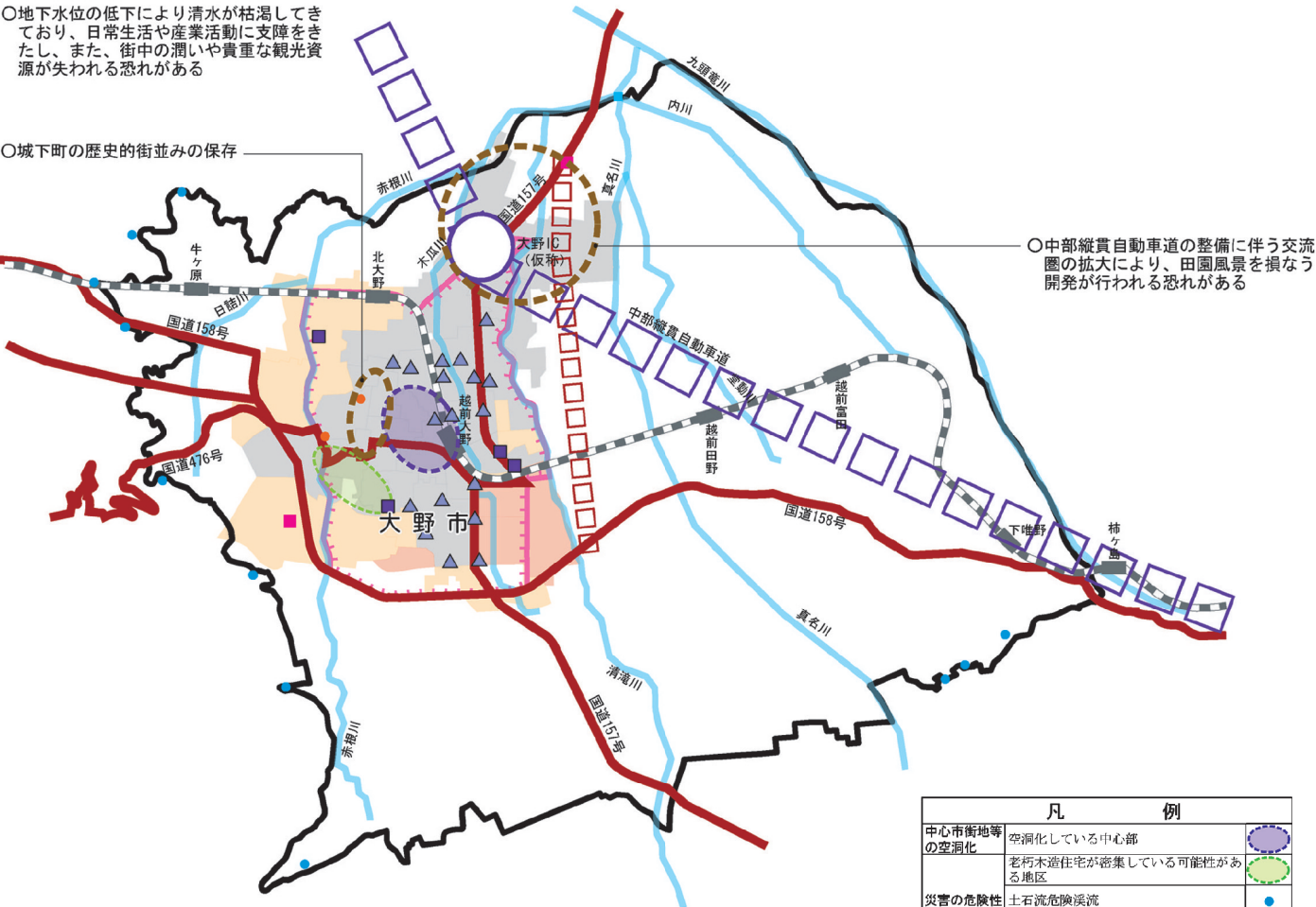
都市の現状と課題

本都市計画区域は、城下町として形成された歴史的街並み等の歴史・文化的遺産や、優れた自然的環境を有しており、奥越地域の中心都市として繊維・農林業を中心に発展してきました。現在、中部圏、首都圏および北陸地域を連絡する中部縦貫自動車道の整備が進められており、今後、人口や産業の流出が懸念される中、高規格幹線道路の整備を活かした都市づくりを進めていく必要があります。

- 中心市街地における人口の減少や未利用地の増加等による空洞化の進行
- 中部縦貫自動車道の整備にともなう良好な田園風景を損なう開発の可能性
- 老朽木造住宅等が密集する泉町や錦町の周辺等の防災性の向上
- 亀山と寺町に囲まれた中心市街地における城下町の歴史的街並みの維持

○地下水位の低下により清水が枯渇してきており、日常生活や産業活動に支障をきたし、また、街中の潤いや貴重な観光資源が失われる恐れがある

○城下町の歴史的街並みの保存



○中部縦貫自動車道の整備に伴う交流圏の拡大により、田園風景を損なう開発が行われる恐れがある

凡 例	
中心市街地等の空洞化	空洞化している中心部
	老朽木造住宅が密集している可能性がある地区
災害の危険性	土石流危険渓流
	急傾斜地崩壊危険箇所
必要な都市施設の不足	整備する予定の主要な幹線道路
	整備する予定の河川
人口の動向	増加している地区
	10%以上増加
	0~10%増加
	減少している地区
郊外に立地する大規模小売店舗（第1種大規模小売店舗）	
用途の転換	工業以外の土地利用が進んでいる工業系用途地域
	工業以外の土地利用の進行が著しい工業系用途地域
	用途地域

※人口の動向はH5からH10にかけての増減率（資料：住民基本台帳）

大野都市計画区域マスタープランの内容

都市づくりの基本理念

1 盆地に栄えた城下町の風情が漂う都市づくり

「城下町として形成された歴史的街並み等の歴史的・文化的な遺産」、「盆地という地形、九頭竜川、清水および市街地周辺にひろがる田園等の優れた自然的環境」および「繊維業等の工業や地域の日常生活を支える商業等の産業」等の魅力的な都市の個性を守り・活かしながら、都市機能が向上していくように適切な土地利用や市街地の整備を行っていきます。

期待される効果

- 都市の快適性、利便性および防災性の向上
- 人口や産業の流出の抑制
- 街中の居住回帰
- 都市の賑わいの創出
- 安心して暮らせる魅力ある都市空間の創出



歴史的・文化遺産である大野城



歴史的たたずまいの残る寺町通り



名水百選にも選ばれた御清水

2 持続可能な都市づくり

用途地域外では、都市計画に加え環境・農林・防災に係る土地利用の規制・誘導方策も活用しながら、地域の実情や望ましい地域像を勘案して、都市的土地利用の抑制または制限に努めていくとともに、中心市街地では、都市における人口や商業等の産業の見通しをふまえ、地域が活性化していくように土地を有効に利用し適切に市街地を整備していくことで、まとまりとめりはりのある市街地を形成していきます。

期待される効果

- 公共投資の効率性の向上
- 里地や里山の自然的環境の保全
- 地域社会の維持
- 防犯性の向上
- 公共サービスに対する住民の負担の軽減
- 高齢者等の日常生活や社会活動の利便性の向上
- 既存の都市施設の遊休化の防止

3 都市間の連携による都市づくり

中部圏や首都圏および県内の各都市との連携を強化する広域交通網を整備し、また越美北線等の公共交通の利用を促進するとともに、複数の市町村の連携による都市施設の整備や維持、またはその有効利用を推進していきます。

期待される効果

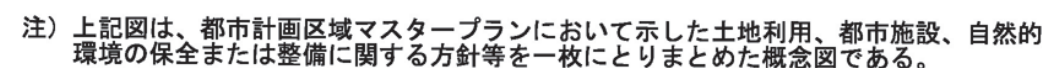
- 交流人口の増大
- 都市の賑わいの創出
- 必要な都市施設の効率的な整備
- 財政負担の軽減

4 活発な首都圏・中部圏交流を促進する都市づくり

中部縦貫自動車道の整備にともない、街中の交流の促進や産業の活性化を図れるように都市基盤を整備していくとともに、従来の良好な田園風景を損なうような開発の抑制に努めていきます。

期待される効果

- 交流人口や定住人口の増大
- 都市の賑わいの創出
- 産業の活性化



都市計画区域
鉄道